

1. 人口

CO101 人口規模

1)人口総数・増加数

本町の人口は、平成12年以降減少傾向が続いている。平成12年からの21年間では2,766人、21.2%の減少となっており、5年毎の増減率は、△4.3%、△5.1%、△6.8%、△6.9%となっている。

令和2年における区域別の人口構成をみると、都市計画区域の人口は10,296人である。

平成28年1月28日に三水地区を都市計画区域内に認定したため、平成27年と比較すると、都市計画区域では56.7%増加となっている。

表 1-1-1 人口総数・増加数

(平成12、17、22、27年、令和2年国勢調査 男女別・年齢階級(5歳階級)別人口をもとに作成)

区 域 区 分	平成12年	12年～17年の増減		平成17年	17年～22年の増減		平成22年	22年～27年の増減		平成27年	27年～2年の増減		令和2年
	人口	人口	率	人口	人口	率	人口	人口	率	人口	人口	率	人口
	人	人	%	人	人	%	人	人	%	人	人	%	人
行政区域	13,062	△558	△4.3	12,504	△639	△5.1	11,865	△802	△6.8	11,063	△767	△6.9	10,296
都市計画区域	7,536	△315	△4.2	7,221	△301	△4.2	6,920	△351	△5.1	6,569	3,727	56.7	10,296
都市計画区域外	5,526	△243	△4.4	5,283	△338	△6.4	4,945	△451	△9.1	4,494	-	-	-

注) 平成28年1月28日 三水地区都市計画区域内に認定

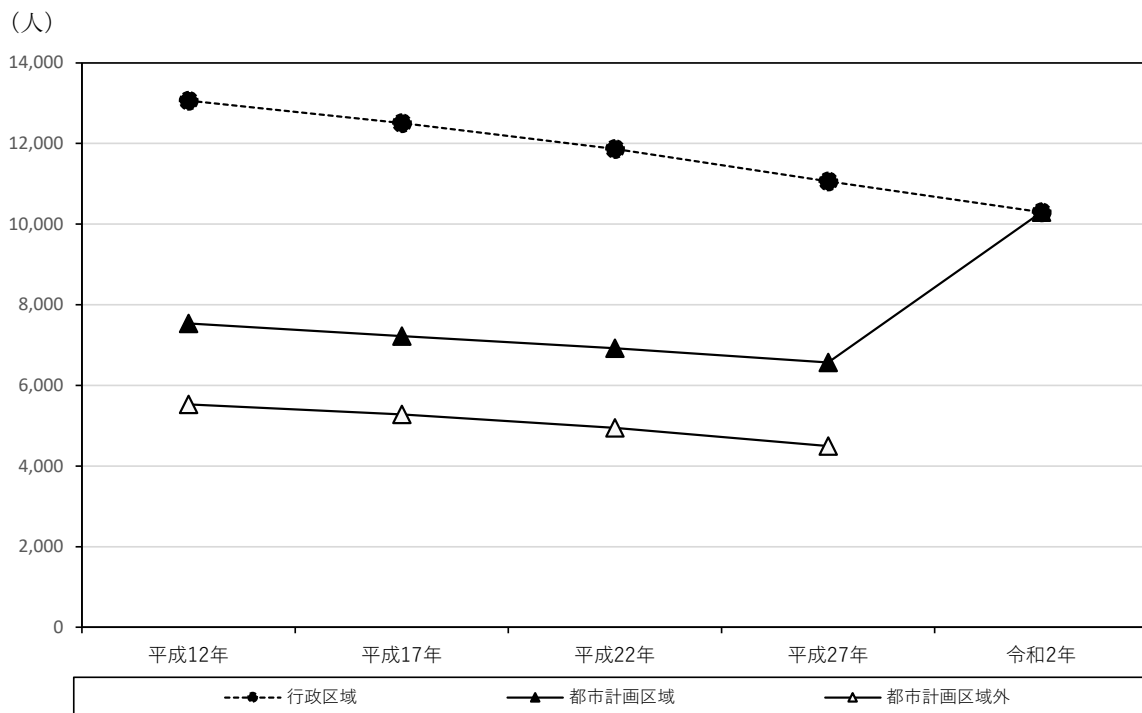


図 1-1-1 人口総数・増加数

2)年齢・性別人口

令和 2 年の年齢別人口の構成比は、年少人口が 9.9%、生産年齢人口が 49.5%、老年人口が 40.6%となっている。

平成 12 年から令和 2 年にかけての年少人口、生産年齢人口の推移は減少傾向である。令和 2 年の年少人口は 1,019 人であり、生産年齢人口は 5,094 人で平成 12 年と比較するとそれぞれ 47.2%、36.1%の減少となっている。一方、老年人口は年々増加傾向であり、平成 12 年の 3,161 人に対して令和 2 年では 4,182 人であり、21 年間で 32.3%の増加となっている。

表 1-1-2 年齢・性別人口

(平成 12、17、22、27 年、令和 2 年国勢調査 男女別・年齢階級(5 歳階級)別人口をもとに作成)

	平成12年			平成17年			平成22年			平成27年			令和2年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
0-4歳	489	246	243	386	190	196	364	182	182	303	158	145	243	112	131
5-9歳	651	344	307	522	271	251	450	210	240	407	202	205	370	198	172
10-14歳	790	442	348	665	346	319	532	276	256	452	209	243	406	200	206
年少人口	1,930	1,032	898	1,573	807	766	1,346	688	678	1,162	589	593	1,019	510	509
15-19歳	800	398	402	672	367	305	572	295	277	463	238	225	364	166	198
20-24歳	634	316	318	500	264	236	414	213	201	333	178	155	270	148	122
25-29歳	593	318	275	615	306	309	483	252	231	390	211	179	280	143	137
30-34歳	633	284	349	570	309	261	535	276	259	429	236	193	378	214	164
35-39歳	683	345	338	633	284	349	620	317	303	542	281	261	475	248	227
40-44歳	841	418	423	712	361	351	622	292	330	628	325	303	561	291	270
45-49歳	1,028	525	503	832	418	414	712	354	358	636	307	329	636	335	301
50-54歳	1,114	588	526	1,032	519	513	800	401	399	706	351	355	629	303	326
55-59歳	812	405	407	1,109	577	532	1,023	517	506	784	383	401	711	352	359
60-64歳	833	396	437	839	422	417	1,134	588	546	1,011	509	502	790	392	398
生産年齢人口	7,971	3,993	3,978	7,514	3,827	3,687	6,915	3,505	3,410	5,922	3,019	2,903	5,094	2,592	2,502
65-69歳	875	433	442	827	393	434	825	406	419	1,106	575	531	1,004	506	498
70-74歳	840	370	470	832	402	430	795	375	420	786	378	408	1,062	549	513
75-79歳	648	260	388	762	316	446	755	348	407	718	326	392	716	335	381
80-84歳	424	149	275	546	198	348	631	244	387	617	268	349	616	268	348
85-89歳	267	73	194	288	96	192	389	131	258	478	152	326	438	169	269
90歳以上	107	29	78	162	39	123	209	38	171	270	70	200	346	90	256
老年人口	3,161	1,314	1,847	3,417	1,444	1,973	3,604	1,542	2,062	3,975	1,769	2,206	4,182	1,917	2,265
年齢不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	1	1	-	1
総計	13,062	6,339	6,723	12,504	6,078	6,426	11,865	5,715	6,150	11,063	5,380	5,706	10,298	5,019	5,277

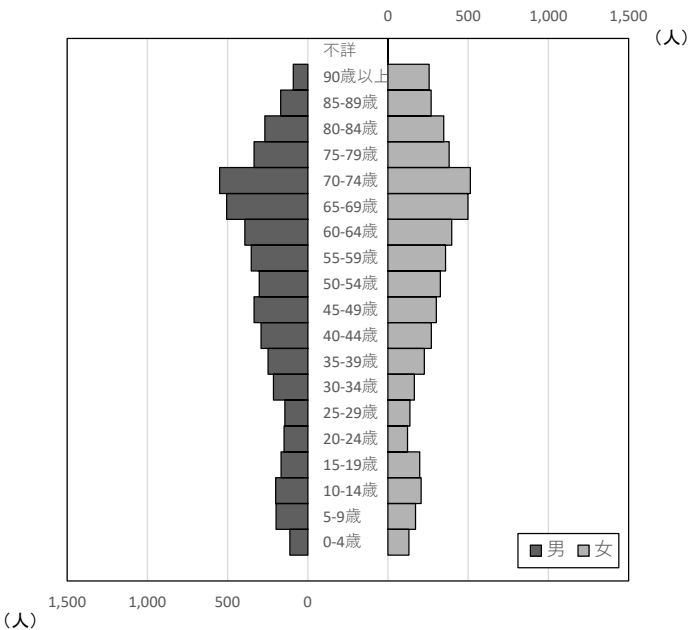


図 1-1-2 年齢・性別人口(令和 2 年)

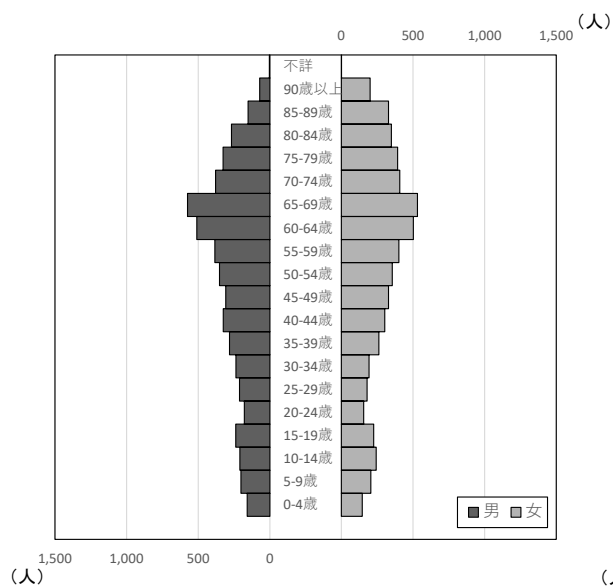


図 1-1-3 年齢・性別人口(平成 27 年)

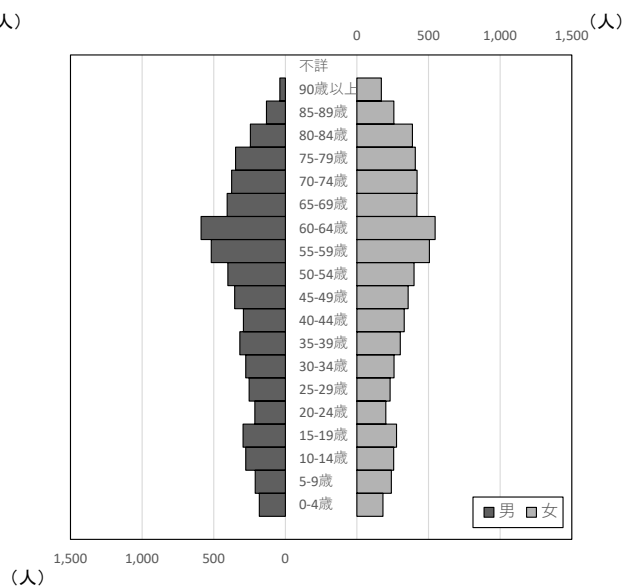


図 1-1-4 年齢・性別人口(平成 22 年)

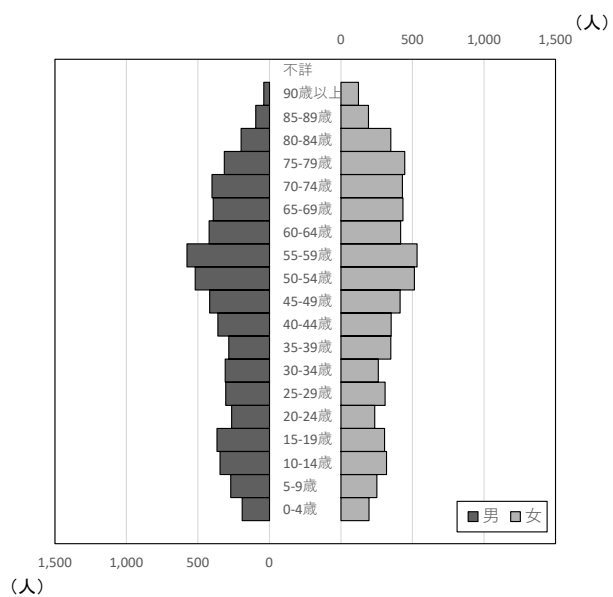


図 1-1-5 年齢・性別人口(平成 17 年)

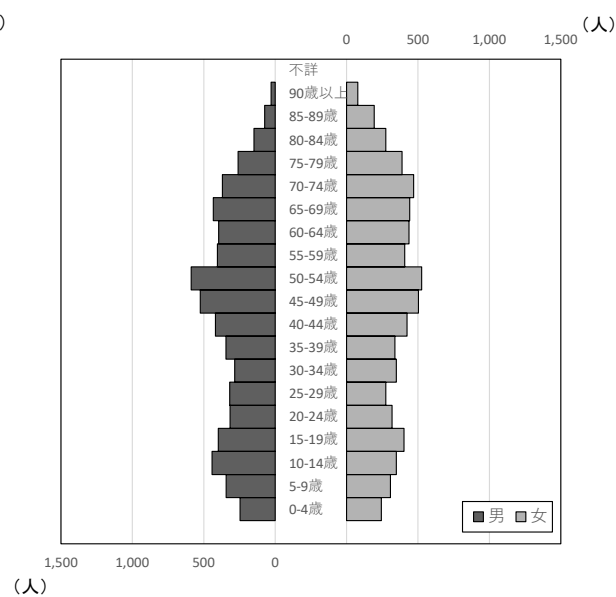


図 1-1-6 年齢・性別人口(平成 12 年)

CO103 将来人口

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」（令和5年推計）における本町の将来人口推計によると、30年後の令和32年（2050年）の総人口は5,586人であり、令和2年（2020年）の総人口10,296人から45.7%の減少となるものと見込まれている。

表 1-3 将来人口

（日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）〔国立社会保障・人口問題研究所〕年齢別男女別将来人口をもとに作成）

	令和2年(2020年)			令和7年(2025年)			令和12年(2030年)			令和17年(2035年)			令和22年(2040年)			令和27年(2045年)			令和32年(2050年)			
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
総数	10,296	5,019	5,277	9,470	4,634	4,836	8,697	4,240	4,457	7,901	3,832	4,069	7,090	3,419	3,671	6,312	3,029	3,283	5,586	2,683	2,903	
年齢階級別	0-4歳	243	112	131	197	101	96	168	86	82	144	74	70	129	66	63	117	60	57	102	52	50
	5-9歳	370	198	172	304	142	162	233	117	116	201	101	100	171	86	85	153	77	76	140	70	70
	10-14歳	406	200	206	370	199	171	308	143	165	235	117	118	203	101	102	173	86	87	155	77	78
	15-19歳	364	166	198	332	157	175	313	167	146	261	120	141	200	99	101	172	85	87	147	73	74
	20-24歳	270	148	122	193	93	100	204	98	106	192	104	88	160	75	85	122	61	61	106	53	53
	25-29歳	280	143	137	230	127	103	192	92	100	201	96	105	188	101	87	157	73	84	120	60	60
	30-34歳	378	214	164	274	149	125	218	124	94	181	89	92	188	93	95	177	98	79	146	71	75
	35-39歳	475	248	227	424	223	201	297	155	142	238	130	108	198	93	105	206	97	109	190	101	89
	40-44歳	561	291	270	494	254	240	428	227	201	301	158	143	243	134	109	202	96	106	209	100	109
	45-49歳	636	335	301	569	294	275	502	260	242	436	233	203	308	163	145	249	139	110	207	99	108
	50-54歳	630	303	327	612	325	287	563	292	271	497	258	239	432	231	201	305	162	143	247	138	109
	55-59歳	711	352	359	597	282	315	611	323	288	562	290	272	496	256	240	432	230	202	305	161	144
	60-64歳	790	392	398	719	356	363	603	286	317	618	328	290	569	295	274	501	260	241	437	234	203
	65-69歳	1,004	506	498	773	385	388	709	351	358	597	283	314	612	325	287	564	292	272	497	258	239
	70-74歳	1,062	549	513	943	469	474	744	367	377	686	337	349	579	273	306	593	313	280	547	282	265
	75-79歳	716	335	381	976	493	483	877	424	453	697	335	362	644	308	336	546	251	295	559	288	271
80-84歳	616	268	348	642	304	338	842	407	435	761	351	410	610	280	330	568	260	308	484	213	271	
85-89歳	438	169	269	444	168	276	492	214	278	659	295	364	600	255	345	488	207	281	461	196	265	
90歳以上	346	90	256	377	113	264	393	107	286	434	133	301	560	185	375	587	182	405	527	157	370	

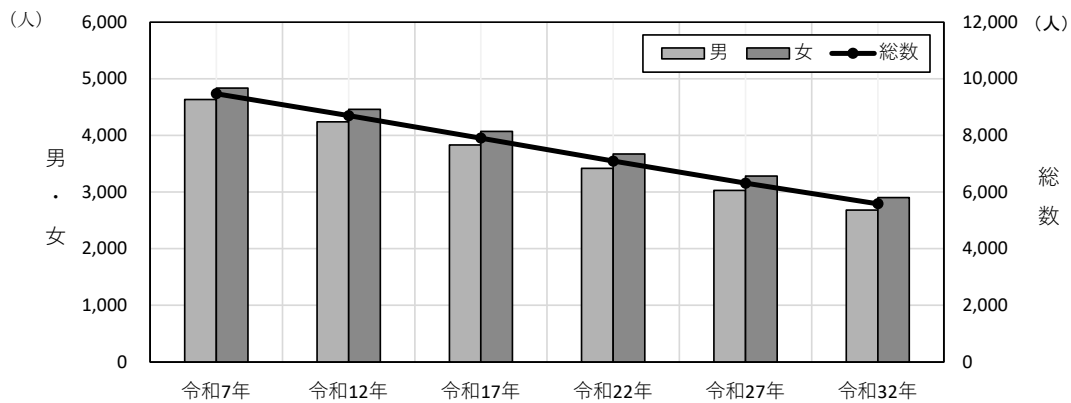


図 1-3 将来人口

CO104 人口増減

本町の平成 12 年から令和 2 年までの人口増減推移をみると、自然増減は平成 12 年を除き死亡者数が出生数を上回っており、自然減となっている。

社会増は平成 17 年以降、転出者数が転入者数を上回る、転出超過となっている。

近年の人口減少の要因として、自然減と転出超過による影響が大きい。

表 1-4 人口増減

(飯綱町住民環境課資料令和 2 年)

	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
	人	人	人	人	人
自然増減	8	△ 67	△ 95	△ 121	△ 113
出生数	103	66	62	51	40
死亡者数	95	133	157	172	153
社会増減	13	△ 50	△ 89	△ 48	△ 48
転入者数	439	348	259	277	239
転出者数	426	398	348	325	287
(その他増減)	-	-	-	-	-
人口増減計	21	△ 117	△ 184	△ 169	△ 161

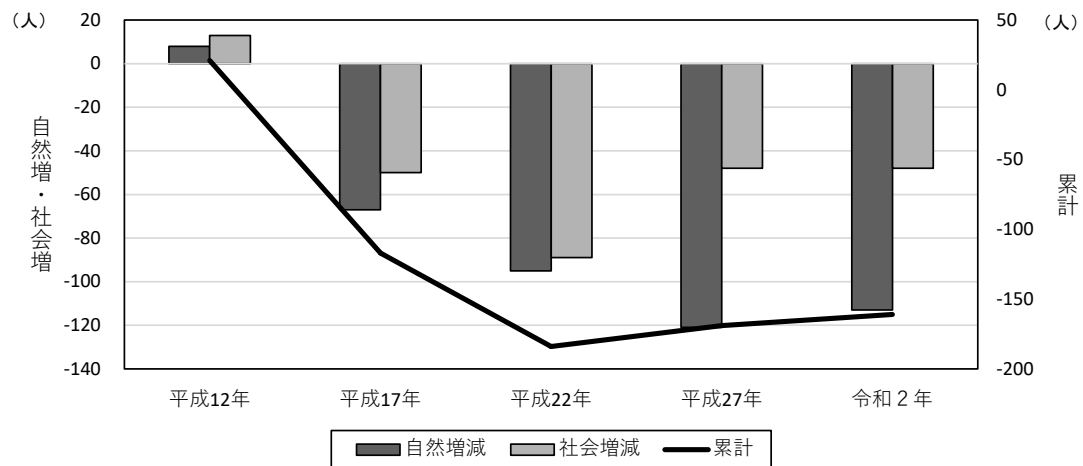


図 1-4-1 人口増減の累計

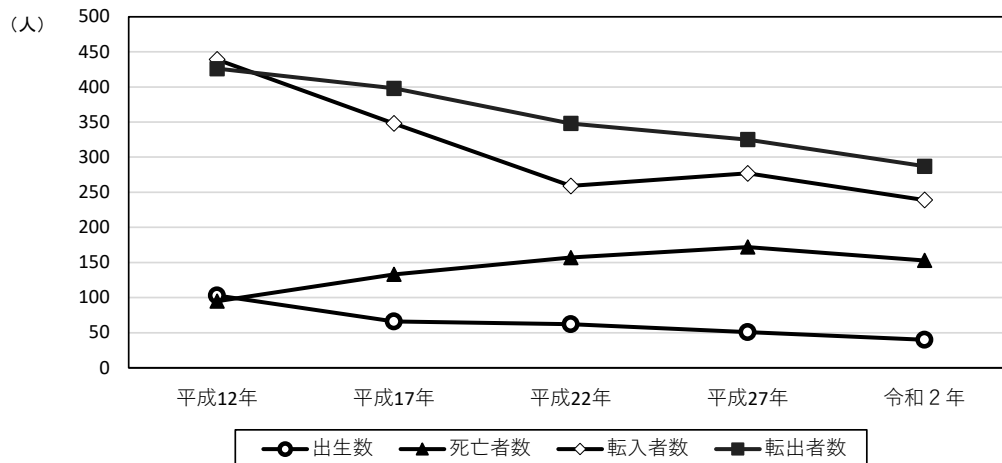


図 1-4-2 人口増減の内訳

CO105 通勤・通学移動

令和 2 年の就業者の流出・流入状況は、流出率 49.6%（流出就業者数 2,910 人）、流入率 27.2%（流入就業者数 1,105 人）、通学者の流出・流入状況は、流出率 79.3%（流出通学者数 268 人）、流入率 56.7%（流入通学者 115 人）といずれも流出が流入を大きく上回っている。流出先は、長野市が圧倒的に多く、就業者 1,930 人、通学者 225 人となっている。

表 1-5-1 通勤・通学移動【就業者】

（平成 12.17.22.27 年、令和 2 年国勢調査 常住地・従業地における就業・通学者数をもとに作成）

	常住地による 就業者数	流出		従業地による 就業者数	流入		従／常 就業者比率
		就業者数	流出率		就業者数	流入率	
	人	人	%	人	人	%	%
平成12年(牟礼村)	4,300	2,317	53.9	2,862	879	30.7	66.6
平成12年(三水村)	3,396	1,601	47.1	2,295	500	21.8	67.6
平成17年	7,503	3,546	47.3	4,956	999	20.2	66.1
平成22年	6,787	3,360	49.5	4,488	1,001	22.3	66.1
平成27年	6,412	3,158	49.3	4,321	1,043	24.1	67.4
令和2年	5,871	2,910	49.6	4,066	1,105	27.2	69.3

- 注) 1. 常住地による就業者数とは当該都市に常住する(夜間人口ベース)就業者数を言う。
 従業地による就業者数とは当該都市に従業する(昼間人口ベース)就業者数を言う。
 2. 流出率＝流出就業者数／常住地による就業者数×100
 流入率＝流入就業者数／従業地による就業者数×100
 3. (従／常)就業者比率＝従業地による就業者数／常住地による就業者数×100

表 1-5-2 流出先・流入先別人口【就業者】

（平成 12.17.22.27 年、令和 2 年国勢調査 常住地・従業地における就業・通学者数をもとに作成）

	流出率第 1 位			流出率第 2 位			流出率第 3 位			流出率第 4 位			流出率第 5 位		
	市町村 名	流出者数	流出率	市町村 名	流出者数	流出率	市町村 名	流出者数	流出率	市町村 名	流出者数	流出率	市町村 名	流出者数	流出率
		人	%		人	%		人	%		人	%		人	%
H12(牟礼村)	長野市	1,642	38.2	信濃町	132	3.1	三水村	125	2.9	中野市	112	2.6	豊野町	104	2.4
H12(三水村)	長野市	863	25.4	牟礼村	219	6.4	中野市	127	3.7	豊野町	98	2.9	信濃町	94	2.8
H17	長野市	2,640	35.2	中野市	275	3.7	信濃町	220	2.9	須坂市	179	2.4	飯山市	48	0.6
H22	長野市	2,405	35.4	中野市	275	4.1	信濃町	247	3.6	須坂市	170	2.5	飯山市	51	0.8
H27	長野市	2,173	33.9	信濃町	277	4.3	中野市	265	4.1	須坂市	175	2.7	飯山市	56	0.9
R2	長野市	1,930	32.9	中野市	290	4.9	信濃町	253	4.3	須坂市	177	3.0	飯山市	64	1.1
	流入率第 1 位			流入率第 2 位			流入率第 3 位			流入率第 4 位			流入率第 5 位		
	市町村 名	流入者数	流入率	市町村 名	流入者数	流入率	市町村 名	流入者数	流入率	市町村 名	流入者数	流入率	市町村 名	流入者数	流入率
		人	%		人	%		人	%		人	%		人	%
H12(牟礼村)	長野市	284	9.9	三水村	219	7.7	信濃町	173	6.0	豊野町	44	1.5	中野市	37	1.3
H12(三水村)	長野市	174	7.6	牟礼村	125	5.4	信濃町	54	2.4	中野市	35	1.5	豊野町	26	1.1
H17	長野市	508	10.3	信濃町	224	4.5	中野市	93	1.9	須坂市	52	1.0	飯山市	30	0.6
H22	長野市	531	11.8	信濃町	198	4.4	中野市	112	2.5	須坂市	46	1.0	飯山市	34	0.8
H27	長野市	534	12.4	信濃町	208	4.8	中野市	128	3.0	須坂市	57	1.3	小布施町	30	0.7
R2	長野市	596	14.7	信濃町	213	5.2	中野市	120	3.0	須坂市	53	1.3	小布施町	36	0.9

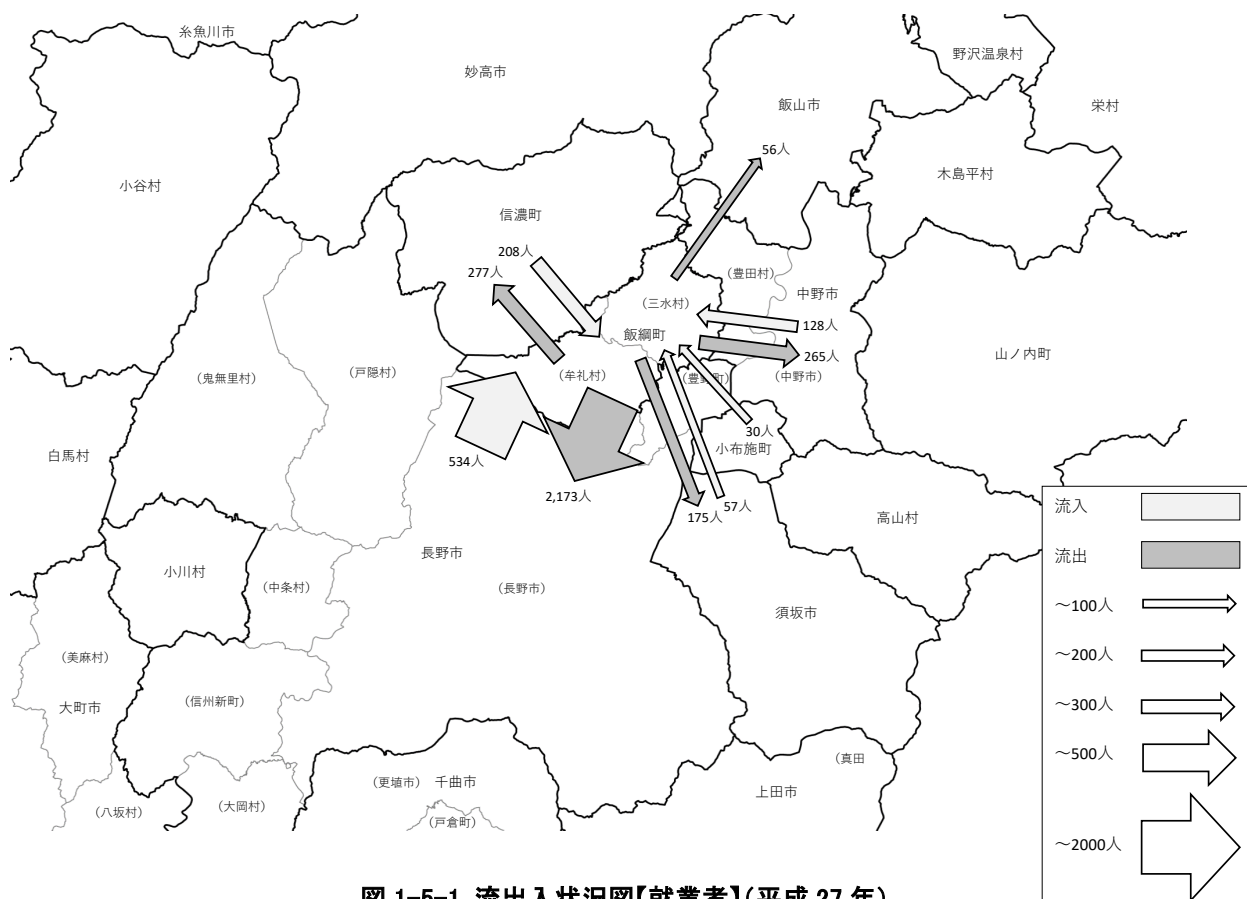


图 1-5-1 流出入状況图【就業者】(平成 27 年)

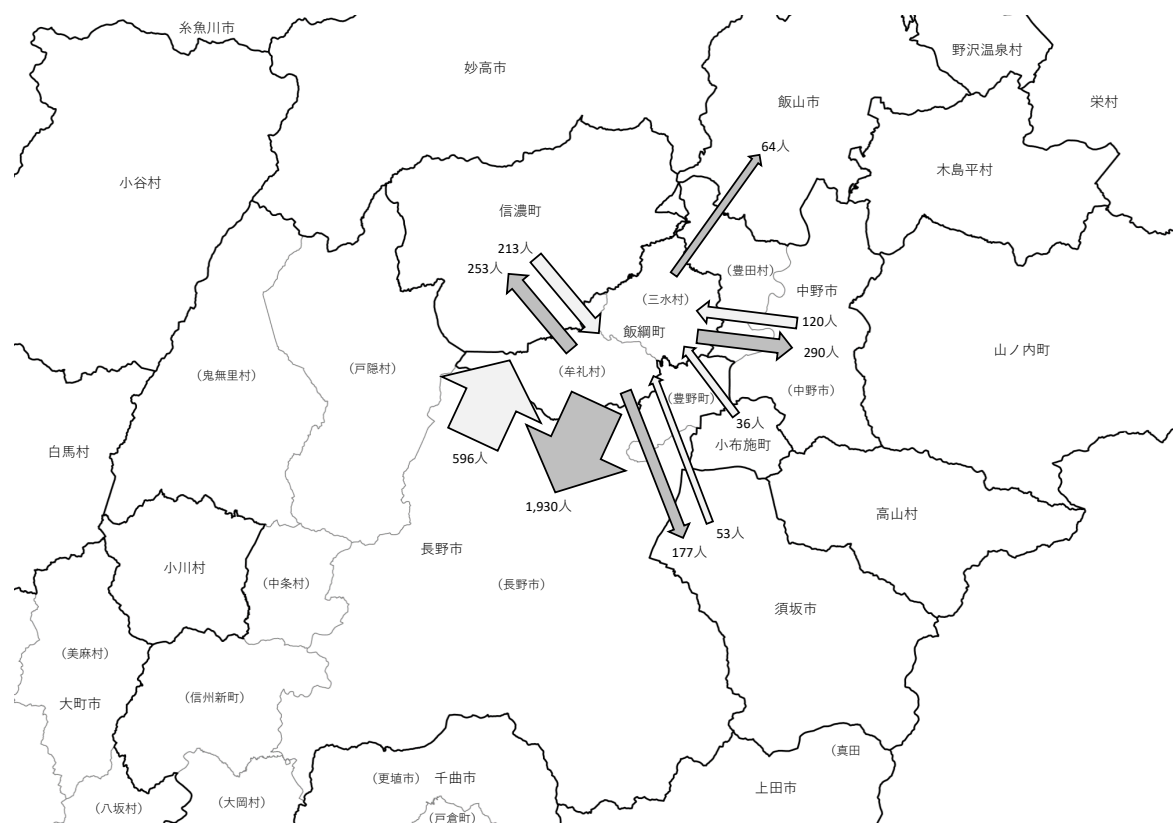


图 1-5-2 流出入状況图【就業者】(令和 2 年)

表 1-5-3 通勤・通学移動【通学者】

(平成 12,17,22,27 年、令和 2 年国勢調査 常住地・従業地における就業・通学者数をもとに作成)

	常住地による 通学者数	流出		従業地による 通学者数	流入		従／常 通学者比率
		通学者数	流出率		通学者数	流入率	
	人	人	%	人	人	%	%
平成12年(牟礼村)	426	409	96.0	56	39	69.6	13.1
平成12年(三水村)	301	217	72.1	346	262	75.7	115.0
平成17年	605	416	68.8	366	177	48.4	60.5
平成22年	542	386	71.2	339	166	49.0	62.5
平成27年	458	326	71.2	278	140	50.4	60.7
令和2年	338	268	79.3	203	115	56.7	60.1

- 注) 1. 常住地による通学者数とは当該都市に常住する(夜間人口ベース)通学者数を言う。
 従業地による通学者数とは当該都市に従業する(昼間人口ベース)通学者数を言う。
 2. 流出率＝流出通学者数／常住地による通学者数×100
 流入率＝流入通学者数／従業地による通学者数×100
 3. (従／常)通学者比率＝従業地による通学者数／常住地による通学者数×100

表 1-5-4 流出先・流入先別人口【通学者】

(平成 12,17,22,27 年、令和 2 年国勢調査 常住地・従業地における就業・通学者数をもとに作成)

	流出率第 1 位			流出率第 2 位			流出率第 3 位			流出率第 4 位			流出率第 5 位		
	市町村 名	流出者数	流出率	市町村 名	流出者数	流出率	市町村 名	流出者数	流出率	市町村 名	流出者数	流出率	市町村 名	流出者数	流出率
		人	%		人	%		人	%		人	%		人	%
H12(牟礼村)	長野市	271	63.6	三水村	91	21.4	須坂市	15	3.5	中野市	9	2.1	上田市	3	0.7
H12(三水村)	長野市	201	66.8	中野市	7	2.3	須坂市	6	2.0	小諸市	1	0.3	飯山市 豊野町	1	0.3
H17	長野市	353	58.3	須坂市	29	4.8	中野市	10	1.7	上田市	7	1.2	飯山市 塩尻市 信州新町	2	0.3
H22	長野市	313	57.7	須坂市	18	3.3	上田市	8	1.5	中野市	8	1.5	飯山市	6	1.1
H27	長野市	243	53.1	須坂市	24	5.2	飯山市	8	1.7	上田市	8	1.7	中野市	6	1.3
R2	長野市	225	66.6	須坂市	13	3.8	中野市	9	2.7	千曲市	6	1.8	上田市	2	0.6
	流入率第 1 位			流入率第 2 位			流入率第 3 位			流入率第 4 位			流入率第 5 位		
	市町村 名	流入者数	流入率	市町村 名	流入者数	流入率	市町村 名	流入者数	流入率	市町村 名	流入者数	流入率	市町村 名	流入者数	流入率
		人	%		人	%		人	%		人	%		人	%
H12(牟礼村)	長野市	27	48.2	信濃町	6	10.7	豊野町	5	8.9	豊田村	1	1.8	-	-	-
H12(三水村)	牟礼村	91	26.3	長野市	77	22.3	信濃町	65	18.8	豊野町	22	6.4	豊田村	4	1.2
H17	長野市	122	33.3	信濃町	49	13.4	中野市	3	0.8	須坂市	2	0.5	飯山市	1	0.3
H22	長野市	113	33.3	信濃町	47	13.9	中野市	4	1.2	妙高市	1	0.3	木島平村	1	0.3
H27	長野市	106	38.1	信濃町	30	10.8	小布施町	3	1.1	中野市	1	0.4	-	-	-
R2	長野市	75	36.9	信濃町	32	15.8	須坂市	3	1.5	中野市 飯山市	1	0.5	小布施町 高山村	1	0.5

注) 「-」は該当数値なし

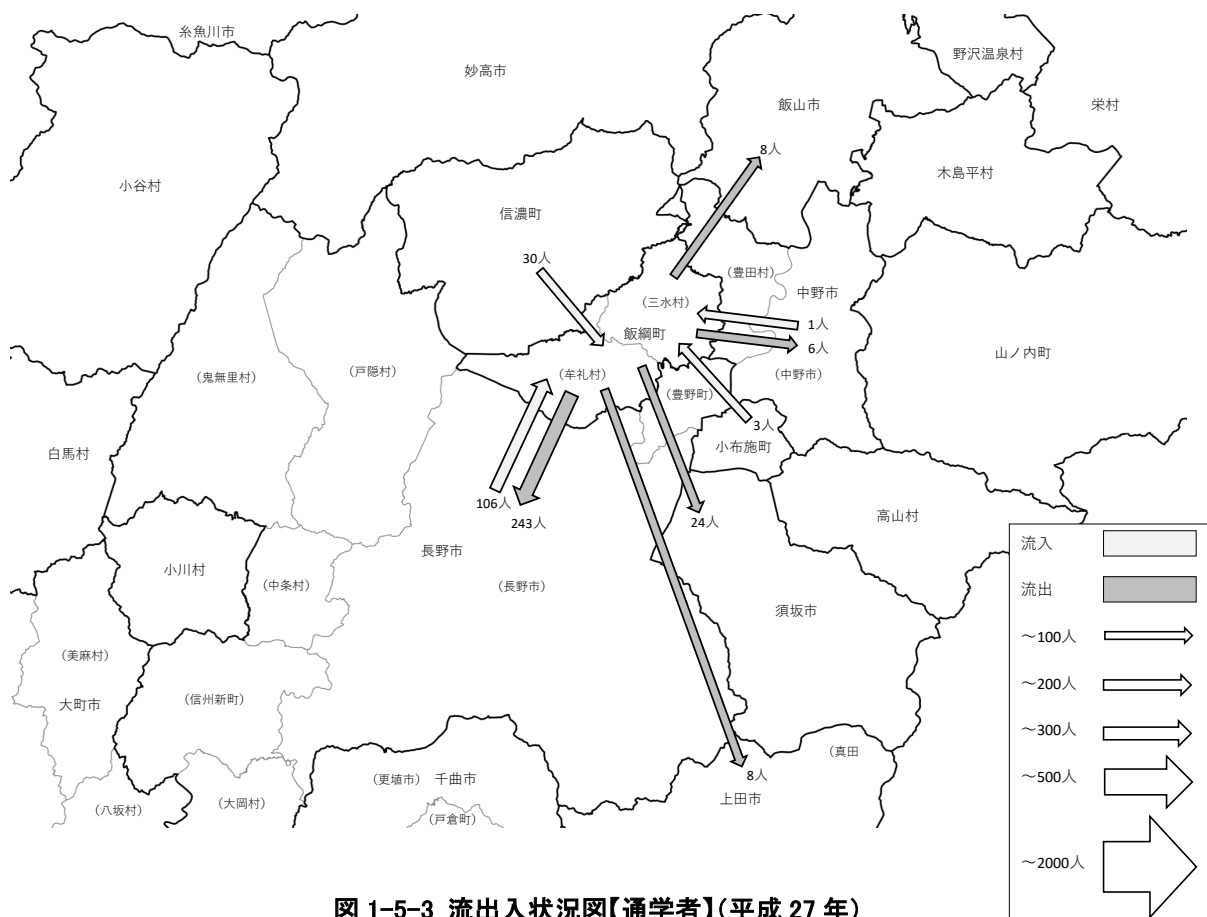


图 1-5-3 流出入状況图【通学者】(平成 27 年)

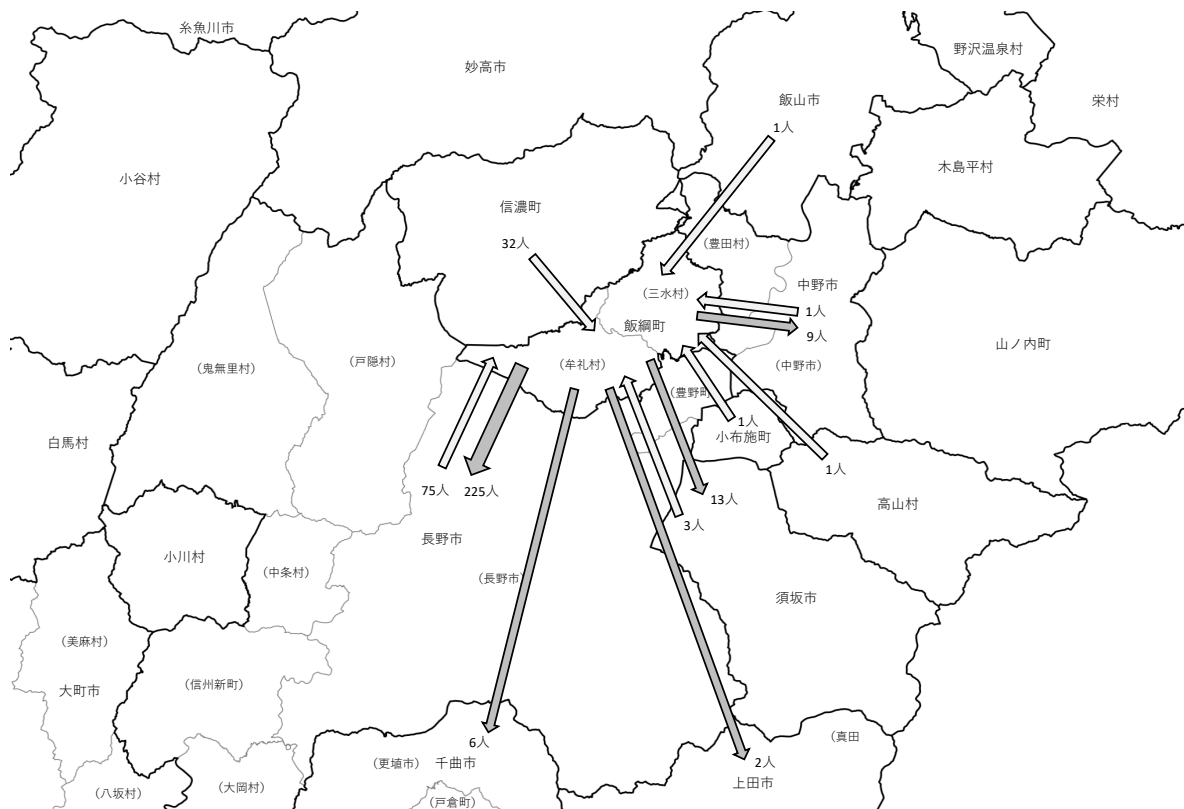


图 1-5-4 流出入状況图【通学者】(令和 2 年)